



2 ひくまじょうあと 引間城跡(浜松元城町東照宮)

家康公が遠江地方を攻略する拠点として入城したお城。元亀元年(1570)に拠点を岡崎から浜松へと移した家康は、引間城を拡大し城名を浜松城と改めた。現在、引間城の城跡には浜松元城町東照宮が建っており、出世の聖地として多くの参拝者が訪れている。

浜松市中区元城町111-2
交/JR浜松駅より遠鉄バス③④乗り場から約5分、「浜松城公園入口」下車



3 はままつしゅせのやかた 浜松出世の館

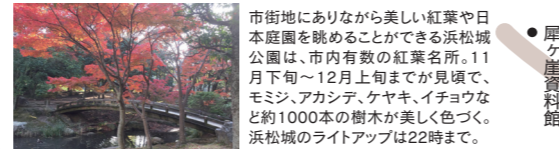
直虎・家康関連グッズに出会える場所。浜松の観光案内をはじめ、直虎関連グッズなどお土産の販売、直虎・家康関連の展示・VR体験などが行われている。

【開館期間：平成30年1月31日(水)まで】
☎053-401-0522 時/10:00~19:00 休/なし 料/入館無料

1 はままつじょう 浜松城

家康の居城。続日本100名城。徳川家康が元亀元年(1570)に築城し、29歳~45歳の17年間で過ごした浜松城。天正3年(1575)、家康に仕えた直政は家康の小姓として仕え、武功を重ねていった。家康が出世の礎を築き、歴代城主の多くが後に幕府の重要ポストに登用されたことから、別名「出世城」とも呼ばれている。現在の天守閣は昭和33年(1958)に、天守門は平成26年(2014)に再建されたものである。

浜松市中区元城町100-2 ☎053-453-3872 開館時間8:30~16:30 料/大人(高校生以上)200円 ※中学生以下は無料 交/JR浜松駅より遠鉄バス①⑤乗り場から約5分「市役所南」または③④乗り場から「市役所前」下車徒歩約6分



市街地にありながら美しい紅葉や日本庭園を眺めることができる浜松城公園は、市内有数の紅葉名所。11月下旬~12月上旬までが見頃で、モミジ、アカシデ、ケヤキ、イチヨウなど約1000本の樹木が美しく色づく。浜松城のライトアップは22時まで。



ここだけは押さえておきたい 家康・直政 ゆかりの地

井伊家を復興させるために、井伊直虎は直政を徳川家康のもとに出仕させ、井伊家のバトンを渡す。直虎の想いを受け継ぎ、直政は家康のもとで獅子奮迅の活躍をして大出世を遂げ、家康は見事、天下統一を成し遂げる。そんな出世パワーみなぎる2人にあやかり、家康と直政のゆかりの地をめぐるしてみよう。

>>CHECK!
2人の間に立って写真をパシャリ!
出世運がうなぎのぼり 二公像



幼少期の豊臣秀吉も引間城を訪れたという記録が残る。天下人となった家康と秀吉にゆかりのある場所として、2人のブロンズ像「二公像」が立つ。SNS映える絶好の撮影ポイントとしても人気。



5 太刀洗の池

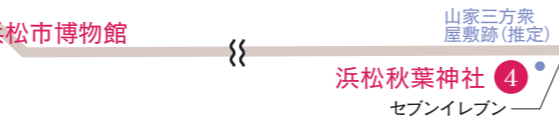


4 浜松秋葉神社

井伊の赤備え発祥の地。家康が浜松城に入城した際に、浜松市の北部(春野町)にある秋葉神社の総本山から勧請した神社。直政のもとで「井伊の赤備え」を結成した旧武田家の家臣は、ここに血判状を奉納した。火の神様として有名。縁結び、家内安全、子宝、子育て、子孫繁栄の神様をお祀りしている。

>>CHECK!
「金の家康くん像」と「うなぎのぼり像」で出世運アップ!

出世の館にある「家康くん出世祈願所」は要チェック。うなぎ形の絵馬に願い事を書き「出世運うなぎのぼり像」に結び付けて、なんともご利益がありそうな黄金に輝く家康くんに祈願すると「出世のお言葉」を聞くことができる。



4 浜松秋葉神社

かつて東京(江戸)は火事の多い町だったが、明治2年(1869)に起きた大火事の際、被害を憂慮した明治天皇が焼け野原に「鎮火社」を築いた。(※現在のJR秋葉原駅付近) 人々はこの「鎮火社」を江戸時代に火防の神として全国から広く信仰を集めていた浜松市の秋葉大権現が勧請されたものと思われ「秋葉様」「秋葉さん」と呼んだそう。また明治天皇は火事でできた焼け野原を火災時の緩衝地帯としたため、人々はこの空地を「秋葉の原」「秋葉つ原」と呼んだとも言われている。

>>ちょっと郊外へ...

5 太刀洗の池

佐鳴湖畔の伝説の池。築山殿が家康の家臣に殺害され、この地にあった池で刀に付いた血を洗ったと言われている。

浜松市中区富塚町328(浜松医療センター駐車場内)
交/JR浜松駅より遠鉄バス②乗り場より約14分、「浜松医療センター」バス下車



浜松市天竜区二俣町二俣 交/天竜浜名湖鉄道「二俣本町駅」から徒歩約10分

6 二俣城跡

武田と徳川が攻防を繰り返した山城。天竜川と二俣川に挟まれた山城。信康が悲劇の切腹をとげた場所である。現在は野面積みの石垣を残す天守台や大手門・堀跡などが残っている。

ちよこつと知識

家康の妻と子、築山殿と信康の悲劇

家康と築山殿の子ともである信康は今川家の居城があった駿府で生まれ、桶狭間の戦いで今川義元が討たれると、岡崎城に移ることになる。家康は信長と清州同盟を結び、信康は信長の娘である徳姫と結婚する。元亀元年(1570)家康が浜松城に移ると、信康は岡崎城代となり、将来を嘱望される武将へと成長していく。だが、天正7年(1579)、徳姫が父である織田信長に送った12ヶ条の訴状に「築山殿が武田勝頼と内通している」と記されており、信長は激高。家康に築山殿と信康の処刑を命じる。熟慮の末、信長との同盟関係維持を優先することにした家康は、身を切る思いで、築山殿の殺害と信康には切腹を命じた。同年、築山殿は家臣によって佐鳴湖畔で殺害される。信康は二俣城で自害した。

7 浜松市博物館

井伊氏や遠江の国衆たちを物語る数々の資料に出会える場所。大河ドラマのクライマックスを迎える11月から、浜松市博物館特別展示室にて、井伊氏の歴史と周辺の遠江の国衆たちに焦点を当てた展示会を開催。直虎の花押や家康の立体しきみ像を見ることができる。

【開催期間：平成29年11月18日(土)~平成30年1月14日(日)】 ☎053-456-2208
浜松市中区蛸塚4-22-1 交/JR浜松駅より遠鉄バス②乗り場から「蛸塚・佐鳴台」方面行約15分、「博物館」下車、徒歩1分 時/9:00~17:00 休/月曜日、祝日、休日の翌日、年末年始 料/大人300円、高校生150円、中学生以下の子は無料、70歳以上の方と障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名までは無料

8 松下屋敷跡

井伊直政ゆかりの場所。引間城の飯尾家に仕えていた松下家の館跡と伝わる場所。直政の母の再婚相手である松下清景は松下家の一門で、幼い直政(虎松)を養子に迎え、徳川家康に仕えることに貢献した。また幼少時代の豊臣秀吉が奉化した場所でもある。



浜松市南区頭陀寺町(頭陀寺第一公園の一角) 交/JR浜松駅より遠鉄バス⑧乗り場から「掛塚」方面行約10分、「頭陀寺」下車、徒歩5分

松下屋敷跡(頭陀寺城跡)